

単元名 年がじょうと書きぞめ

配当時間 11 時間

単元の目標 (1) 文字を書く位置や大きさ、字形、中心に気を付けて、正しく書くことができる。
 (3) 文字を書く位置や大きさ、字形、中心に気を付けて、丁寧に書こうとする。

標準的な展開例

02020201_001

【教材名】 あけましておめでとうございます／お正月に…／元気な子（書き初め）／図工…／書いてつたえ
 合おう (P. 27～P. 33)

【準備等】 八つ切り画用紙 1/2（短冊），フェルトペン，横罫線用紙，縦罫線用紙，画用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 文字を書く位置や大きさに気を付け、年賀状を書く。 ★年賀状の書き方のきまりに気を付けて丁寧に書こう ○新しい年を迎える気持ちについて話し合う。 ○文字を書く位置や大きさを確かめる。 ① 相手の名前は中央に書く。 ② 相手の住所は右に書く。 ③ 自分の名前は左に書く。 ④ 自分の住所は名前の右に書く。 ○練習用紙に表書きを書く。 ○文字を書く位置や大きさについて、教科書の表書きと比べて自己評価する。</p> <p>○表書きと裏面の文字を練習する。</p> <p>○年賀状を丁寧に書き、自己評価する。</p> <p>3 鉛筆を正しく持ち、文字の形や中心に気を付けて、書き初めを書く。 ★文字の形や中心に気を付けて、丁寧に書こう ○『お正月に…』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○段落や句読点の書き方のきまりを確かめる。 ①段落のはじめは一字下げにする。 ②「、」や「。」は、ますの右上に書く。 ○『お正月に…』を練習する。 ○『お正月に…』をまとめ書きし、自己評価する。</p> <p>4～5 フェルトペンを正しく持ち、文字の形や中心に気を付けて書き初めを書く。 ★文字の形や中心に気を付けて、丁寧に書こう ○『元気な子』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○『元気な子』を練習する。</p> <p>○『元気な子』をまとめ書きし、鑑賞し合う。</p> <p>○お正月の言葉を書く。</p> <p>6～7 文字の概形の違いに気を付けて、『図』『工』などを書く。 ★文字の形に気を付けて書こう ○『図』『工』を試し書きし、課題をつかむ。 ○教科書P. 30を見て、試し書きと比べて話し合う。 ○文字の概形を理解する。</p> <p>○いろいろな概形の文字を練習する。 ○同じ部分をもった文字の概形の違いを理解する。</p> <p>○『図工』『上と下』『本を読む』『時間わり』をまとめ書きする。</p> <p>8～11 相手や目的を考えて用具や用紙を選び、招待状や本</p>	<p>・表書きの書き方についても扱う。</p> <p>・年賀状の意義について説明する。</p> <p>・文字の大きさは①相手の名前②相手の住所③自分の名前④自分の住所の順に小さく書かせる。</p> <p>・はがきサイズの練習用紙を用意しておく。 【評】 作品や自己評価を通して、文字の大きさや書く位置に関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・裏面も用紙の中でどのように文字を配置するかよく考えて書かせる。</p> <p>・本時の目標をふまえてまとめ書きをさせる。 【評】 作品や自己評価を通して、文字の大きさや書く位置に関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・文を音読して書き順を確認してから試し書きを行う。</p> <p>【評】 作品を通して、文字の形や中心に関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・フェルトペンの持ち方、動かし方を教師が示範したい。</p> <p>・ペン先を紙に強く押し付けて書く児童が多いので、軽い筆圧で書くよう声を掛ける。</p> <p>・中央の線に補助線を書いた練習用紙を印刷しておく。 【評】 作品を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・言葉の例を示し、選ばせてもよい。</p> <p>・学習したことが役立つように声掛けをし、意欲を高める。 【評】 言葉を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・書き順を確認してから試し書きをさせる。</p> <p>・教科書P. 30の文字の周りを囲むことによって漢字と平仮名の4種類の概形に気付かせ、概形を考えて書くことの必要性を実感させる。</p> <p>・文字の概形を児童の言葉で表現させてもよい。</p> <p>・始筆の位置にも気を付けさせる。</p> <p>・一字のときと文字の部分になるときの形や点画の変化が理解できるように説明する。 【評】 作品を通して、文字の概形に関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・生活科や国語科と関連させ指導すると効果的</p>

の紹介カードを丁寧に書く。

★招待状や本の紹介カードを丁寧に書こう

○本時の目標を知る。

○どのような形式の招待状にするか決める。

○練習し、自己批評をする。

○招待状をまとめ書きし、自己評価、相互評価をする。

○『本のしょうかいカード』の書き方や書くときに気を付けることについて話し合う。

- ①文頭は1文字空ける。
- ②横書きは、下線にそろえて書く。
- ③文字の中心をそろえて書く。
- ④書き順
- ⑤画の長さ
- ⑥画と画との間
- ⑦画の方向

○『本のしょうかいカード』を書く練習をし、自己評価をする。

○『本のしょうかいカード』を下書きする。

○『本のしょうかいカード』をまとめ書きし、自己評価をする。

○友達の『本のしょうかいカード』を読み、感想を伝える

である。

- ・招待状や本の紹介カードを書く学習であることを知らせる。
- ・何で書くか（用具）、どんな紙に書くか（用紙）、縦に書くか横に書くか（縦書き・横書き）、イラストを入れるかなどの点をよく考えさせる。
- ・内容は、生活科の単元や学校行事などに関連させて考えさせるとよい。
- ・教科書P.32の招待状の例を参考にさせる。

- ・横罫線や縦罫線の用紙、画用紙を用意し、自由に選べるようにしておく。
- ・横書きの場合は、教科書P.12を参考に、句読点や拗音・促音を書く位置を確認する。
- ・姿勢や筆記用具の持ち方に気を付けるように声かけをする。
- ・よさと課題を見付けて、赤鉛筆などで修正できるように例示する。

【評】練習や自己批評を通して、招待状を書くことに対する「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・練習を振り返らせ、受け取る人のことを考えて丁寧に書くように話す。
- ・練習したものまとめ書きを比べ、よくなったことを評価させる。
- ・互いの招待状のよいところを見付けて伝え合わせる。

【評】作品や自己評価、相互評価を通して、招待状を書く「知識・技能」を評価する。

- ・教科書P.33の『本のしょうかいカード』の文を音読させる。
- ・目次などを参照して既習事項を振り返るように助言する。

- ・教科書P.33の教材例を印刷して、なぞり書きさせたり、視写させたりする。

【評】練習や自己評価を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・書くときに気を付けることを板書しておく。

- ・教科書P.33を参考にして、自分のおすすめの本について書くようにする。

【評】作品や自己評価を通して、『本のしょうかいカード』を書く「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】